

かしこく
注意深く
安全に
思いやりと
勇気を持つ

Family Guide



Be Internet Awesome

保護者の方へ

Google が最初に作成した Be Internet Awesome カリキュラムは、教師向けの内容でした。デジタル セキュリティと安全なオンライン利用方法を教えることは今日の学校でも不可欠な要素になっていますが、子どもが学ぶうえで土台になるのは家庭であり、健全なオンライン習慣についても同じことです。

テクノロジーは移り変わりが速く、取り残されないようにすること自体が難しい場合もあります。Google は、日常生活の中で良いデジタル習慣を取り入れ実践することを容易にするために、このガイドを保護者向けに作成しました。このガイドには、Be Internet Awesome の 5 つの領域についてお子さまといっしょに話し合い、学び、考えるために役立つ情報が載せられています。

- Smart (かしこく)** : 気をつけて共有する
- Alert (注意深く)** : にせ物にひっかからない
- Strong (安全に)** : ひみつを守る
- Kind (思いやりと)** : 思いやりを持つ
- Brave (勇気を持つ)** : まよったら話してみる

これらの領域は、米国全土や世界各地の学校で普及が進んでいる Be Internet Awesome プログラムの大切な要素です。お子さまが学校で Be Internet Awesome を使って学んでいる場合は、保護者の方にこのガイドをご覧いただくことで、お子さまが話す内容を理解し、学んだ内容を定着させるために手を差し伸べることができず。

例えば、Be Internet Awesome の対話型オンラインゲームの Interland は家庭でも遊べます。お子さまが喜んでゲームの遊び方を教えてくれるかもしれませんし、一緒に遊ぼうとするかもしれません。

このガイドはご家族向けの参考資料として作成されたもので、オンラインの安全性と安全な利用について解説しています。5 つのレッスンで学べる Interland ゲームのほか、インターネットを正しく安全に使うための基礎固めに向けて、ご家族での話し合いやアクティビティで活かせる用語と話し合いのポイントも紹介します。

ご家族の皆さんで、楽しみながら Be Internet Awesome に取り組んでください。

よろしくお願いいたします。

Be Internet Awesome 担当チームと、インターネット探検家より





Be Internet Smart
気をつけて共有する

04



Be Internet Alert
にせ物にひっかからない

10



Be Internet Strong
ひみつを守る

14



Be Internet Kind
思いやりを持つ

18



Be Internet Brave
まよったら話してみる

23



Google
ファミリーリンク

29

気をつけて 共有する

オンラインでは情報がすぐに広まっていくため、よく考えて行動しないと、その結果にいつまでも影響を受ける状況になりかねません。

では、どうすればよいのでしょうか。自分がよく知っている人と知らない人とで、何をどのように共有すればよいのかを学ぶことが解決策になります。



目標

- ✔ **知る**：どのような情報であれば共有してもよく、どの情報は秘密にしておくべき（または、家族だけに共有するなら大丈夫）なのかを把握します。
- ✔ **話す**：誰に対して、何であれば共有してよいかをお子さまがよくわかっていない場合、何をすればよいかを家族で話し合います。
- ✔ **学ぶ**：プライバシーをさまざまな観点から捉える方法を学びます。

始める前に

オンラインでプライバシーを保てるかどうかは、インターネット上、特にソーシャルメディアで、自分自身と家族について何を共有するか、何を共有しないかに大きく左右されます。お子さまにとって本当に大切なスキルは、共有してもよいものと、共有してはいけないものを知ることです。私たち誰もが、何度も体験することで身につけるスキルであり、家庭はその出発点として最適な場所です。

このスキルを確立するうえで不可欠な要素は、家族すべてが持っている2つのタイプの情報（家族だけで共有する「内部向け」と、家族以外の人と共有する「外部向け」）の共有を考えてみることです。

ご家族との共有：

多くのご家族は、調べもの、遠くにいる祖父母との連絡、買い物、ゲーム、保護者の方が忙しい間の動画の視聴といった用途で、デバイスをお子さまと共有しています。ここで大切なことは、デバイスを共有するとき何が共有されているのを知っておくことです。

保護者の方のデバイスである場合は、デバイス上の設定、連絡先、パスワード、クレジットカード情報をお子さまが利用することを許していることになり、内容によっては、お子さまが表示、利用、共有することが好ましくない場合もあります。お子さまが保護者の方のデバイスを使って、内容が不明なアプリをダウンロードし、登録することもあり得ます。また、ご家族の間でパスワード共有を習慣にするかどうか検討することをおすすめします（パスワードは他人と共有しないようにすることが望ましいためです）。このガイドをひとつお読みいただくことで、必要な情報を理解できるようになります。

ご家族以外との共有：

オンラインでどのように過ごせるかは、毎日の過ごし方によって決まります。情報には、ご家族以外の人を知る必要のない、個人の情報とご家族の情報があります。これには、パスワードや住所だけでなく、休みの日にいつどこに出かけるのか、ご家族の中で次に誰の子どもが産まれるのかといった情報も含まれます。

他にもさまざまな状況が考えられますが、最初に、このレッスンで使われている用語を確認した後、プライバシーに関する4つのシナリオを見ていきます。ご家族と実際に試してみて、何を共有してもよく、何を共有してはいけないかを全員が挙げられるようになってください。

用語集

オンラインプライバシー

幅広い意味を持つ用語です。一般的には、自分に関するどの情報をオンラインで共有するのか、それを誰が閲覧し、共有できるのかを決める能力のことを指します。

デジタル フットプリント

(またはデジタル プレゼンス)

オンラインで参照できるあなたに関するあらゆる情報のことです。写真、音声、動画、テキストから、友だちのプロフィールに投稿する「いいね」やコメントにいたるまで、あらゆる情報がこれに当てはまり得ます。人が歩くときも、その足跡（フットプリント）が残るとまったく同じように、オンラインで何かを投稿したときも、その痕跡が残ります。

評判（レピュテーション）

自分に対する他の人の考え、意見、印象、信用のことです。自分で全面的に把握することはできませんが、自分について肯定的または好ましく思ってもらいたいと考えるのが一般的です。

個人情報

その人であることを特定できる情報です。たとえば、氏名、住所、電話番号、マイナンバー、メールアドレスなどが個人情報（または秘密情報）と呼ばれます。この種の情報をオンラインで共有する前に、慎重に検討してください。

共有しすぎ

(オーバーシェア)

あまりにも多くの情報をオンラインで共有してしまうことです。一般的には、オンラインの特定の状況または会話の中で、個人情報または自分自身について共有しすぎることがこれに当たります。

設定

デジタル製品、アプリ、ウェブサイトなどに用意されていて、プライバシー設定を含め、共有する項目やアカウントの取り扱いを定義または調整できる領域のことです。

ファミリー アクティビ ティ

シナリオ 1

プライバシーに関するさまざまなシナリオ：あなたなら何を しますか？

あなたのお子さまたちは、おじいさんとおばあさんをたずねる旅行を本当に楽しみにしています。あなた自身も楽しみです。お子さまの1人があなたのスマートフォンを使って、あなたのソーシャルメディアプロフィールで旅行について投稿しました。その投稿では、いつどこに行くかがわかるほか、写真が投稿され、おじいさん、おばあさんを含めて全員が「タグ付け」されています。あなたは、どうすればよいでしょうか。

- 投稿を削除するように言う。休みの期間と場所をソーシャルメディアに投稿すると、その間は家に誰もいなくなることを「世界中に知らせる」結果になり、好ましくないため。
- それらの写真をソーシャルメディアに投稿してタグ付けしてもよいという許可を、おじいさん、おばあさんから得ているのかをたずねる。写真を撮った相手またはオンラインで話題にする相手について投稿する場合は、事前に必ず許可を求めるように念を押す。オンラインで共有してよいかかわからない内容について、いつでも質問に来てかまわないと伝える。

保護者の方への手引き：上に挙げた内容はすべて、家族で話しておくことをおすすめします。家に誰もいないことを世界中に知らせるのが好ましくないことは、すでにお子さまに伝えているかもしれませんが、世間に自分の情報が共有されることについて、どの程度まで許容できるかが人それぞれ違うことを、お子さまが認識することも大切です。

シナリオ 2

あなたの姉妹の1人が、妊娠していることをあなたの一家に告げたばかりだとします。お子さまは、小さいとこができることに心を躍らせています。一番上のお子さまが、おばさんとおじいさんの写真に赤ちゃんが生まれるという言葉を追加して投稿したと言いました。しかし、それを聞いたのは、あなたが妊娠した妹から次のテキストメッセージを受け取った後のことでした。「ねえ、母さんと父さんが私の妊娠のことを知っているのはどうして？私はまだ伝えていなかったんだけど！」あなたは、どうすればよいでしょうか。

- 赤ちゃんができたのはすばらしいことであるが、そのことは個人的な情報であること。聞いてうれしいのはわかるが、いつどのように、だれに知らせるかは、妊娠している本人が決めることとお子さまに伝える。
- そのお子さま（またお子さま全員）に、悪気がなかったのはわかるが、すぐに投稿を削除しておばさんに電話し、許可を得ずにおばさんについて投稿したことを謝らなければならないと伝える。

- ソーシャルメディアで共有してもかまわないさまざまな情報についてご家族で話し、ご家族の中だけ、他の親戚まで、友人まで、だれにでもかまわないなど、どこまでならよいかを話し合う。

保護者の方への手引き：これらの話し合いは、しかるべき状況になった時点で始めることをおすすめします。一度にすべて取り上げるよう急ぐ必要はありません。有無を言わせない話し方はしないでください。これらのレッスンは、ほとんどのご家庭でプライバシーの尊重についてお子さまに教えることと、さほどの違いはありません。このガイドの目的の一つは、このような教えを、テクノロジーの使い方についてもどのように適用するかをご紹介しますことです。

シナリオ 3

あなたは夕食の支度をしています。あなたの5年生の娘さんは、宿題をすべて済ませたので、友だちの皆からすすめられているゲームでどうしても遊びたいと言っています。アプリをあなたのタブレットにダウンロードして、夕食まで遊ばせてほしいとお願いされました。ここで、いくつかの点を考える必要があります。

- 娘さんがタブレットを使うことについては、パスワードを変更しない、連絡先に電話しない、許可なくアプリをダウンロードしないといった明確な決まりごとがすでにあります。タブレットで何をするかについて娘さんがうそをついたことはないため、アプリをダウンロードして遊んでもよいと伝えました。
- 友だちの遊んでいるゲームが娘さんにとって好ましいのか、すべてのゲームを把握しているわけではありません。娘さんには、ゲームをダウンロードしてもかまわないが、本当に遊んでよいゲームの内容かを、夕食後に確かめるまで待ちなさいと伝えました。
- ゲームをダウンロードすること自体は問題ないと感じているものの、共有については常に慎重に考えるように家族で決めているため、家族どうしてあってもパスワードは共有しません。そこで、タブレットを私のところに持ってくればロックを解除できると娘さんに言いました。
- 娘さんはあなたのパスワードを知っていますが、あなたはゲームを自分の目で見て確かめたかったため、夕食後まで待つよう娘さんに伝えました。娘さんについては、それまで何か別のことをやっていくだろうと信頼しています。

保護者の方への手引き：上に挙げた対応のどれが最も適切であるかは、すべてご家族次第であり、オンラインで過ごす中での安全とデバイスのセキュリティを保つために決めた「我が家のルール」次第です。パスワード、デバイスの共有、アプリのダウンロード、ゲームの遊び方に関してまだ方針を決めていない場合は、ご自身の「我が家のルール」を決めていくうえで、これらの対応のいずれかを試してみてください。

シナリオ 4

あなたの娘さんが、学校のある女の子が、娘さんの親友の事をソーシャルメディアに投稿をしたと言ってきました。しかし、その内容は秘密にしている事だったので、娘さんの親友がとても恥ずかしい思いをしました。あなたの娘さんはその親友が本当に可愛そうだと言っています。あなたはどのような対応をしますか。

- 家族全員が集まったときに、この状況について話し合います。「プライバシー」とは何か？オンラインとオフラインの両方なのか？何故他人を尊重することが大切なのか？自分のプライバシーと同じように、他人のプライバシーも守ることができるか？インでの「プライバシー」と、対面での「プライバシー」との意味について、各自がどのように感じているかをたずねる。また、自分のプライバシーと同じように他の人のプライバシーを尊重することが大切である理由をたずねる。
- 娘さんに、投稿を削除してもらえよう、娘さんから女の子に頼んでほしいと親友が思っているかをたずねたいか。また、なぜこのことを質問しているかを親友に説明できるか（もちろん、このことすべてを娘さんが問題なくできるかについても質問する）。

上記両方を試してみる価値はあると思いますか？

保護者の方への手引き：ソーシャルメディアでは、生きていく上で大切な数多くの教訓を得られます。実際の日常生活とまったく同じように、好ましくない状況についてもご家族で話し合い、次に何をしたらいいかを一緒に考えることで、お子さまは有意義な教訓を学ぶことができます。



用心の山

さて、必要な知識を身につけ、共有することについてもいろいろ学びました。学んだ知識を実際にインターネットで活かす前に、この知識をテストで試してみましょう。Interlandの山の中心は、さまざまな人が行き交っている、新しいスキルを試すには絶好の場所です。

だれに何を共有するかについて、よく注意を払わなければなりません。情報は光の速さで伝わりますし、インターネット探検家の中には、手当たり次第に、誰にでも共有してしまうオーバーシアーラーがいます。

パソコンまたはモバイル デバイスでウェブブラウザを開いて、https://beinternetawesome.withgoogle.com/ja_jp/interland/landing/mindful-mountain にアクセスします。

にせ物に ひっかか らない

オンラインで目にするものが常に本場で、
実際に存在し、信頼できるとは限らないこ
とをお子さまに気がついてもらうことが大
切です。オンラインを安全に、安心して利用
するには、何が本物であり、何がにせ物で
あるかを見分けることが欠かせません。



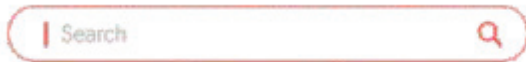
目標

- ✔ **知る**：オンラインで表示されていても、必ずしも本当ではありません。
- ✔ **学ぶ**：オンライン検索の仕組みと、ウェブで情報などのコンテンツを検索するときは本物かどうかを考慮することが大切になる理由を学びます。
- ✔ **考える**：検索結果、ウェブサイト、その他の情報源の価値について考えるとともに、誤った情報、「フェイクニュース」、情報操作に惑わされないよう注意します。

始める前に

オンライン検索は、普段の暮らしに欠かせない要素です。当然ながら、お子さまが学校に通うよりもずいぶん前から、ご家族の生活の一部になっています。検索結果が本物かどうかを考えながら読む習慣を身につけ、検索エンジンの仕組みを学ぶことは、家族全員で取り組める基本的で役に立つスキルの一つです。

「検索」とは



ウェブを検索すると、検索エンジンによってオンラインで情報を探せます。このエンジンが情報を整理して、簡単にすぐ見つけられるようにします。現代のデバイスのほとんどは検索機能を備えていますが、何が本当で、何が嘘であり、何が信頼できるのかを知らせる機能はありません。このような判断については、現在も人間の知性に勝るテクノロジーはありません。ただし、インターネット上で「事実確認」するための判断力を高めるには、多少のトレーニングが必要になります。用語集のセクションを読み終えたら、アクティビティを確認してください。ご家族で、オンライン検索を賢く利用するためのヒントになります。

用語集

検索エンジン

ユーザーが問い合わせた内容に対応する情報がデータベースにあるかどうかを探し、識別するためのプログラムです。

ウェブクローラ

「ボット」とも呼ばれ、検索エンジンソフトウェアの内部で実行されるプログラムです。検索ボックスに入力される問い合わせに対応するため、インターネットを絶えずクロール（巡回）し、アクセスしたすべてのサイトとデータベースについて、コンテンツの整理、つまりインデックス（索引）の生成を行います。

バーチャル アシスタント

ウェブクローラと同様に、検索データベース、ユーザー情報、その他のウェブサイトから情報を取得することにより、自動処理で質問に回答し、コマンドに従い（新しい友人の家への道順を案内するなど）、

簡単なタスクを実行して（曲を再生するなど）、暮らしの役に立ちます。

検索結果

検索した内容への応答として、検索エンジンのページに表示されるウェブサイトなどのリソースのリストです。

セーフサーチ

オンにすると、保護者の方によって不適切と判断されたコンテンツを検索から除外できる機能です。いつでも有効または無効にできます。

誤った情報

誤っている、にせ物である、誤解を招く、または不正確な情報です。

にせ情報

誤った情報（上の項を参照）のうち、人の誤解を招こう、また

は人を騙そうと意図した情報です。政治的に対立している側や別の政府からの宣伝活動を含みます。

検証可能

真実であるか、正確であるかということを、証明または確認できることです。

虚偽

事実と異なっていて、誰かをからかい、騙そうとする、また誤解させようとする行動やメッセージのことです。

情報操作

不当、不誠実、または脅迫として、別の人を支配、感化しようとする人や集団のことです。また、事実ではないことを信じ込ませようとして、文脈から切り離して歪曲されるか編集されるかした情報、データ、画像を意味する場合もあります。

ファミリー アクティビ ティ

ウェブ検索を賢く利用できるようになる

- ご家族でタブレットまたはパソコンを囲んで座り（スマートフォンでも検索できますが、画面を全員で一緒に見るのは難しいかもしれません）、お気に入りの検索エンジンのホームページに移動します。
- セーフサーチの機能がオンになっていることを確かめます（通常は、検索エンジンの [設定] や [個人用設定] にこの項目があります）。
- お子さまが興味を持っている話題を選んで、検索ボックスに入力します。プロのスポーツ選手、お気に入りのテーマ、俳優や音楽アーティスト、大好きな映画、作家などです。

上位に表示されているものと、何ページか後にあるものを含めて、さまざまな検索結果をクリックしてください。上位に表示された結果と後ろのほうの結果について、どう思ったかをお子さまに質問します。あるものを、別のものよりも信頼しているでしょうか。信頼している理由、または信頼していない理由は何でしょうか。

- あなた、またはお子さまが、クリックしなかった検索結果はありますか？それはなぜですか？（「スポンサー付き」、あるいは広告だったからですか？クリックした理由、またはしなかった理由は何でしょうか。避けている情報源はありますか？それはなぜですか？）
- サイトに掲載された情報の出所と品質、[このサイトについて] ページなどに関して話し合います。
- ここで、お互いに尋ねることができる質問の例をいくつかご紹介します。有名なアーティストやスポーツ選手を検索した場合、コンテンツは肯定的なもの（したがって、おそらくはスポンサーまたはファンのサイト）でしょうか。否定的または批判的な情報である場合、批判の発信者について詳しい情報（[このサイトについて] ページ、サイト所有者の身元や経歴に関する情報）は見つかるでしょうか。肯定的であるか否定的であるかにかかわらず、情報の発信者が発信内容を本当に理解しているのか、それとも単に意見を共有しているだけなのかを見分けられるでしょうか。ニュースサイトの場合、有名で信頼できると感じられるサイトでしょうか。有名なサイトではない場合、そのサイトのことを検索してみてください。他の人が、このサイトが情報を偏見なく紹介していると思っているかどうかを調べてみましょう。
- ご家族で、独自に質問を考えてみてください。疑問があるということは大切です。オンライン検索の結果が本物かどうかを考えながら読むことは、デジタル リテラシーの基礎であり、オンラインを安全に利用するための重要な第一歩になります。

Be Internet Alert



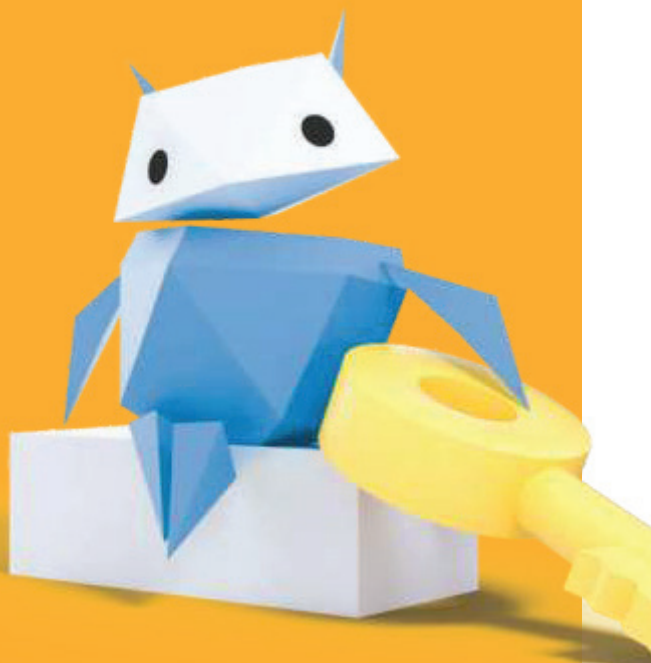
真実の川

これで、注意しながらオンラインを利用する方法がわかりました。スキルをテストしてみましょう。Interland を流れる川には、本当のことで作りごとが流れています。しかし、ものごとは見た目どおりではありません。流れが急な川を渡るには、的確な判断が必要です。

パソコンまたはモバイル デバイスでウェブブラウザを開いて、https://beinternetawesome.withgoogle.com/jp_jp/interland/landing/reality-river にアクセスします。

ひみつ を守る

情報、アカウント、デバイスのセキュリティは、プライバシーと同じように非常に重要です。家族のデバイス、ID、評判、関係を守るには、安全なパスワードを使い、パスワードを共有しないように努めることが不可欠になります。



目標

- ✔ **知る**：デジタル セキュリティが重要である理由と、その実現方法を理解します。
- ✔ **学ぶ**：安全なパスワードの作成方法を学びます。

始める前に

2017 年当時によく使われていたパスワードの上位 2 つが、「123456」と「password」であることはご存じでしょうか。パスワードは、個人の安全、デバイス、ID、評判、そして関係を守ってくれるものであり、パスワードが安全でないと、犯罪者が私たちの情報を入手しやすくなります。大人から子どもに教えることのできる最も基本的なことのひとつとして、安全なパスワードを作成する方法があります。

ここでは、常に安全なパスワードを作成するためのヒントをご紹介します。

- パスワードは覚えやすいものにしつつも、誕生日やペットの名前などの個人情報は使わないようにします。
- 大文字、小文字、記号、数字を組み合わせてパスワードを作成します。
- アルファベットを他の数字や記号に置き換えます（例：e を 3 に、a を @ に、t を + に、0（アルファベットのオー）を 0（ゼロ）に、l（アルファベットのエル）を 1 に）。この方法には 2 つの面で利点があります。
パスワードそのものは覚えやすくなりますが、プログラムで読み取られにくくなるのです。
- 8 文字以上にします。長ければ長いほど安全です。
パスワードは使い分けます。同じパスワードを複数のサイトやデバイスで使わないでください。アカウントごとに、同じパスワードのバリエーションを変えて作成するという方法もあります。
- デバイスの画面ロックを常に利用します。
- パスワード マネージャーを使うことを検討します。これは、パスワードを忘れた場合に備えて記録してくれるアプリまたはツールです（最新のブラウザは、この処理をユーザーに代わって実行するセキュリティ機能を備えています）。

用語集

セキュリティ

ユーザーのデバイス、ソフトウェア、それらに保存されている情報を保護することです。

パスワードまたはパスコード

アクセスする対象に使われる、英数字と記号との秘密の組み合わせのことです。これ以外の形で導入されている場合があります。たとえば、4桁の数字コードでスマートフォンやタブレットのロックを解除できることもあれば、メール、ソーシャルメディア、銀行口座ではさらに複雑なパスワードを使うこともあります。一般的には、自分で覚えていられる限り、最大限に複雑なパスワードを設定する必要があります。

2段階認証プロセス

(2要素認証または2段階認証とも呼ばれます)
侵入者が個人のデータやIDを入力(盗用)しにくくなるよう、パスワードとユーザー名に加えて、本人だけが物理的に持っているものを使う必要があるセキュリティプロセスのことです。たとえば、アカウントのパスワードを入力した後、スマートフォンまたはメールに送信される時間制限付きコードの入力を求めることなどがあります。

暗号化

データに特殊な加工を施して復元を難しくすることにより、オンラインで送信されるメッセージなどの情報を保護するプロセスのことです。

複雑さ

安全なパスワードを作成する際の目標です。パスワードは、数字、特殊文字(\$や&など)、アルファベットの小文字と大文字をすべて組み合わせたとであれば、複雑であると考えられます。パスワードを長くする(文字の数を増やす)ことでも、複雑さが高まります。

ハッカー

コンピュータを駆使して、他人または他の組織のデバイスやデータに不正にアクセスしようとする人物のことです。

ファミリー アクティビ ティ

強力なパスワードを一緒に作成する

このアクティビティを始める前に：

このアクティビティにはご家族全員で取り組みますが、パスワードは架空のものにすることをおすすめします。理由は、パスワードは何があっても決して共有しないという考え方に慣れることが大切だからです。大親友、いとこ、ご家族の一員にも明かさないでください。パスワードは自分だけが知っているものです。

パスワードは、一定の人(保護者の方など)の権限を保護するものであり、他の人(お子さまなど)の権限を保護するものではありません。また、他人の悪戯から自分を守るものでもあります。

たとえば、あなたのふりをする、あなたのデバイスであなたを困らせる、偽のプロフィールを作成するというようないたずらです。

1. 楽しいフレーズや、記憶に残るイベントのことを考えてみましょう。ご家族のお気に入りの映画、児童書、お子さまが卒業する高校やその時期などです。例：Shanaya Roy will graduate from Delhi Public School in 2023（Shanaya Roy は Delhi Public School を 2023 年に卒業します）。
2. そのフレーズやタイトルに含まれている単語の一部または全部から、先頭の 1 文字を使います。例：SRoywgfDPublicS23
3. 文字の一部を数字と記号に置き換えます。例：3RoywgfDPubl1c\$23
4. 文字の一部を大文字と小文字に置き換えます。例：3ROYwgfDPubl1c\$23

これで完成です。非常に安全なパスワードをご家族と一緒に作成できました。

次のステップ: 安全なパスワード作成して、定期的に見直し、誰にも共有しないよう全員が努めます。デバイスを家族と共有する場合は、どのデバイスを（パスワードを含めて）誰が「所有」するのかを決めます。自分が所有していないデバイスを使いたい人は、所有している人にロックの解除をお願いする必要があります。



宝の塔

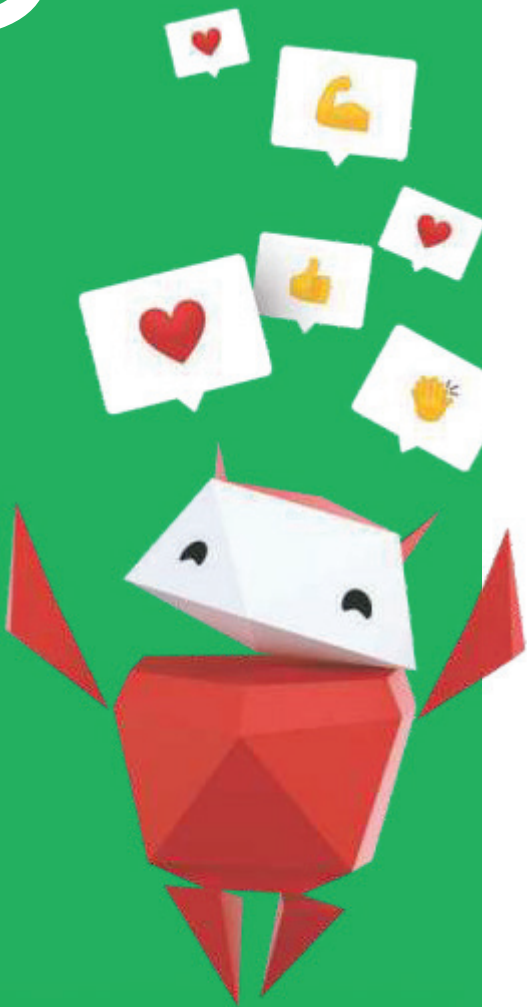
これで、情報を保護する方法がわかりました。オンラインで安全に行動するために必要な事柄が身についているかを、確かめてみましょう。大変です! 宝の塔のロックが解除されて、インターネット探検家の大事なアイテム（連絡先情報や非公開のメッセージ）が盗まれてしまうかもしれません。

ハッカーから逃げて、安全なパスワードでとりでを築き、秘密を守り抜いてください。

パソコンまたはモバイル デバイスでウェブブラウザを開いて、https://beinternetawesome.withgoogle.com/ja_jp/interland/landing/tower-of-treasure にアクセスします。

思いやり を持つ

インターネットは素晴らしいコミュニケーションの道具であり、何かを探すのにこれ以外には必要ないほどです。元気になったり気分を盛り上げたりする情報を広めるために使うことができますし、実際に使われています。でもその一方で、衝撃的で憎しみに満ちたコメントや意見もインターネットは伝えます。残念ながら、インターネットそのものは思いやりのある行いと残酷な行いを区別できません。そのため、ご家族のお手伝いが必要になります。お子さまはご家族の影響を強く受けます。「自分が接してほしいと思うように他の人にも接する」という考えを例に説明し、友人をサポートし、ドラマやネットいじめを抑えることで、「思いやりを持ち意識高く行動する」よう導いてください。



目標

- ✔ **定義する**：ご家族にとって、肯定的な振る舞いとはどのようなものであるのかを決めます。
- ✔ **知る**：前向きとはどのようなことであり、オンラインやデバイスではどのように表現するのかを知ります。
- ✔ **見分ける**：テキスト メッセージやオンライン投稿ではなく対面でやり取りしたほうがよいのは、どのような状況でしょうか。保護者の方または年上の兄弟、姉妹に助けを求めるのは、どのようなときでしょうか。

始める前に

誰かが間違いを犯したとき（オンラインでは、意図していなくても、驚くほど簡単に間違いが起こってしまいます）、その人を理解して許し、間違いから互いに学べるように手助けできるのは、他人ではなくご家族です。したがって、オンラインで他の人を尊重し、思いやりを持ち、前向きな言葉や行動を実際に示すための出発点としては、ご家庭が最も適しています。ご家族は、家族の一員がひどい体験をしたときに助けてあげることができます（場合によっては、話に耳を傾けるだけでもかまいません）。また、残酷なふるまいや悪意のあるふるまいの標的になっている人を助け、支えることで「行動を起こす人」になるよう、お互いを励ますこともできます。

どのような活動やふるまいが大切なのかをまだご家族で話し合っていない場合は、人に対してどのように接するべきなのかを話します。テキストメッセージ、投稿、コメント、写真、動画などデジタルの場合には、どのような形の行動になるのかを考えます。

その取り組みの参考として、肯定的または否定的なふるまいを理解する上で役立つ用語をいくつかご紹介します。また、入力して瞬時に送信できるテキストなどのデジタル メッセージがどのような結果になってしまうのかを示すため、アクティビティも用意しました。

用語集

いじめ

わざと意地悪にふるまうことであり、普通は繰り返し行われます。いじめの標的になっている人は、自分の身を守るためにつらい思いをしていることがほとんどです。

ネットいじめ

オンラインで、またはデジタルデバイスを使って行われるいじめです。他人の個人情報や秘密の情報を共有して困らせ、恥をかかせることに加え、否定的、有害、うそ、または意地悪なコンテンツを送信、投稿、共有することを含みます。

嫌がらせ

いじめよりも意味の広い言葉で、困らせる、迷惑なことをする、おびえさせる、からかうといった多くの形で表れることがあります。オンラインでも行われます。

争い

必要以上に繰り返される言い合いや口論です。

「ドラマ」

大人よりも学生がよく使う話し言葉です。仲間の気を引こうとする行いから、噂話の拡散、複数の学生間でよくある継続的な対立、身体や心が傷ついてしまう深刻な争いまで、さまざまな振る舞いのことを指します。このタイプの争いには力のアンバランスが存在しないという点で、いじめとは異なります。どちらの当事者も、時と場合によって、加害者にも被害者にもなります。これは、振る舞いが無害である、ま

たは悪化しないという意味ではありません。学生間の「ドラマ」は、「丸く収まる」、つまり時間とともに解決することもあれば、部外者の介入が必要になる場合もあります。

意地悪する人

嫌がらせやいじめをしている人です。「いじめっ子」と呼ばれることもあります。

標的

いじめ、嫌がらせ、被害を受けている人です。

傍観者

嫌がらせやいじめを目撃し、状況を認識していても、自らの意志で、または仕返しを恐れて介入しない人です。

行動を起こす人

嫌がらせやいじめを目撃した際、標的となっている人を個人的にまたは人前で支える人です。場合によっては、目撃した行為をやめさせることや通報することを含みます。

ブロック

オンラインで、ある人とのやり取りを先方に知らせることなくすべて取りやめ、あなたのプロフィールへのアクセス、あなた宛てのメッセージの送信、あなたの投稿の閲覧などを拒否することです。いじめっ子からの（特定の手段からの）オンラインでの接触は実質的には止まりますが、嫌がらせ自体が終わるとは限りません。いじめっ子は、いじめを受けている子が無視しているとしても、その子に関することを投稿できます。

ミュート

ブロックという「最終手段」の一步手前であり、ある人のソーシャルメディアフィードでの投稿やコメントが迷惑だと思っている場合に、その人の発信が表示されないようにする手段です。ミュートの対象となった人には何も通知されず、その人のフィードからミュートされることもありません（ひっきりなしにいじめを受けているのであれば、完全にブロックしたほうがよい場合もあります）。

荒らし行為

残酷、不快、または挑発的な内容を、オンラインで意図的に投稿またはコメントすることです。

不正行為を報告する

ソーシャルメディアサービスのオンラインツールまたはシステムを利用して、サービスの利用規約やコミュニティ規約に一般的に違反している嫌がらせ、いじめ、脅迫、その他の有害なコンテンツを報告することです。

ファミリー アクティビティ

1 番目： 会話の話し方に 目を向けてみる

テキストメッセージや投稿の重要な部分は、その雰囲気です。受け取った人が感じるの、心地良さでしょうか、不快感でしょうか。保護者の方とお子さまとは、絶えずテキストメッセージをやり取りして、メッセージングアプリを利用し、ダイレクトメッセージ（DM）を送り合っていて、お互いをよく知っているため、文章がどのように受けとめられるのかを必ずしも意識してはいません。知っている人との間であれば、テキストメッセージは会話や連絡手段の一つにすぎないのです。しかし、互いによく知らない間柄の場合、テキストや絵文字が自分の意図とは大きく違う形で受けとめられることもあります。その点を皆さんに考えてもらえるよう、シンプルなアクティビティを用意しました。

1. ご家族のスマートフォンを2台以上用意し、テキストメッセージ（または全員が使っているメッセージアプリ）を開いて、ご家族2人の中で会話を始めます。話題は、今週末の予定、学校での出来事、家族のだれかに手伝ってほしいことなど、現実または架空の事柄のどちらでもかまいません。
2. うれしい、悲しい、怒っているなど、特定の話し方で会話の内容を読み上げます。
3. 読み上げられた会話を聞いていて気づいたことを話し合います。聞いているときは、どのように感じたでしょうか。家族以外の人が聞いたら、どのように考え、感じると思いますか？その文章を別の言い方で書いていたら、どのような表現になったでしょうか。その他の質問も思いついたら、出し合ってみてください。
4. 次に、ご家族の別の2人がテキストメッセージで会話してみます。怒っている、悲しいなど、最初とは別の話し方にしてください。会話の内容を読み上げられているのを聞いて、どのような印象を受けたかを話し合います。

2 番目： 人付き合いの中で 否定的な場面を 見かけたときに できること

ここで、学校での友だち付き合いについて、親子で話し合う場合のポイント（と質問）をいくつか挙げます。あなたのご家族の場合、どれが効果的かを確かめてみてください。

学校では互いに仲良くしている？

だれかがだれかに何度も、それとも長い時間、意地悪しているのを見たことはある？

その子たちのことは知っている？

その子たちから意地悪されたら、そのことを私に言う？（言わない場合は、なぜ？）自分ではなく他の子が意地悪されていたら、どう感じたと思う？

- その場面で、あなたはどうした？
- 意地悪はオンラインで起きていること？その子たちをミュートまたはブロックすればよいという話も聞いたけど、それでうまくいくと思う？うまくいかないなら、理由を話してくれる？うまくいくなら、どうふうにやるのか教えてくれる？
- (何もしなかった場合) 何かすればよかったと思う？
- 意地悪をまた見かけたら、自分はどうすると思う？
- いじめられているのが自分だとしたら、あなたのすることは助けになると思う？
- 親切にして、ただ話を聞いてあげるだけでも、だれかの助けになれると思う？
- オンラインで意地悪を見た人が、その意地悪を他の人に伝えたら、もっと悪くなるかもしれないのはわかる？
- オンラインで傷つけられている友だちを助けてあげられると思う？
- どうやって助ける？意地悪について声をあげる（でも意地悪しているその子自身を攻撃しちゃダメだね）？傷ついている子について、思いやりのある言葉を投稿する？その子の味方だというテキストメッセージや DM を送る？他の生徒にテキストメッセージや DM を送って、オンラインや個人でその子のことを助けてくれるようお願いする？

行動を起こす人であることは、時には、いじめを受けている人の友人になることでもあります。話を聞いてあげて、好きであるという肯定的な気持ちを伝え、ただ寄り添います。



思いやり王国

良い雰囲気も悪い雰囲気も、人から人に伝わっていきます。町で一番日当たりの良い場所で、悪いことばかりする乱暴ものがあればまわって、いたるところでいやな感情をまき散らしています。

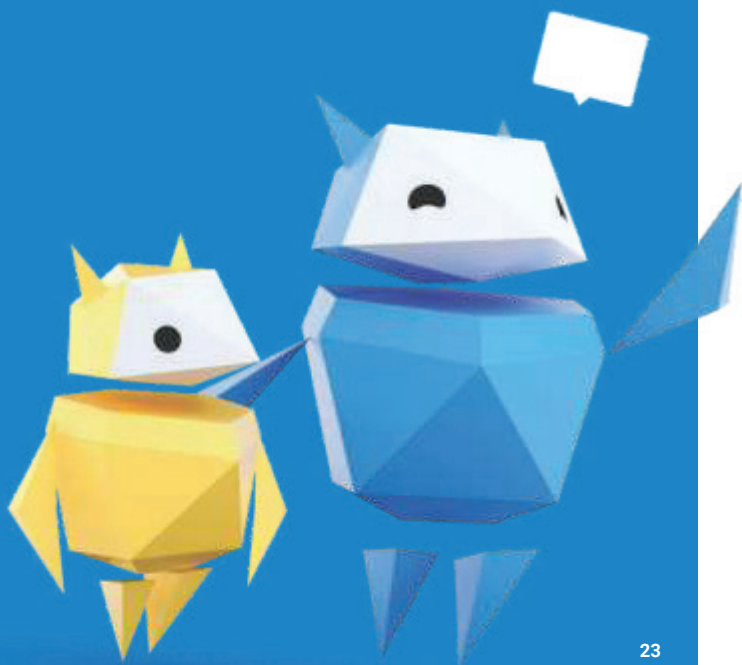
乱暴ものに乗っ取られないように、その人をブロックして報告しましょう。この土地の平和を取り戻すために他のインターネット探検家にやさしくしてください！

パソコンまたはモバイル デバイスでウェブブラウザを開いて、https://beinternetawesome.withgoogle.com/ja_jp/interland/landing/kind-kingdom にアクセスします。

まよったら 話してみる

いやな気持ちになる不適切なコンテンツやふるまいをお子さまがオンラインで目にしたとき、特に、お子さまやお子さまが大切に思うだれかにとって傷つける内容である場合に、自分ひとりではないことをお子さまに知ってもらうことが大切です。

ためらうことなく、保護者の方や信頼しているご家族のだれかに助けを求められるようにします。勇気を持って行動を起こすには、オンラインで話し合うことやオンラインの報告ツールを使うことを含めて、さまざまな方法があることも知ってもらいます。



目標

- ✔ **促す**：ものごとが好ましくない場合や、嫌な気持ちになった場合は、助けを求めるようお子さまに促します。他の人を支えてあげて、状況がうまくいくように助けを求めるのは、勇気ある行動だということを理解してもらいます。
- ✔ **考える**：ネット以外や対面で話し合うこと、不正行為をオンラインで報告すること、またはその両方が必要な状況であるかを考えます。
- ✔ **知る**：オンラインとそれ以外で助けを得る方法を知ります。

始める前に

インターネットで助けを求める時の手順と計画をご家族で決めておくこと役立ちます。複雑なものにする必要はありません。オンラインで困ることが起きているときに助けを求める理由とその方法について、ご家族の全員で考えていただけるよう、1つのアクティビティを用意しました。役に立つヒントをいくつかご紹介します。

- 何を大切にするのかをご家族と一緒に決めます。その方法の一つは、次のような事柄を決めることです。「我が家では、オンラインとそれ以外の両方で、人に _____ で接する」（ご家族で何を大切にし、何が行動の基本になるのか、当てはまる言葉を空欄に入れます。「尊敬の気持ち」、「思いやりのある心」、「堂々とした態度」などです）。
- コミュニケーションの手段をいつでも使えるようにしておきます。ご自宅は、学校やオンラインでの出来事を安心して話せる場所にします。
- コミュニケーション、娯楽、仕事、遊び、人付き合いなどで、さまざまなテクノロジーを使うことの価値と使うときの優先順位について、ご家族の方針とルールを繰り返し伝えます。
- デバイスとメディアをいつ、どのように使ってよいか、どのように使ってはいけないかについて、ご家族の考え方と方針を話し合います。

用語集

手順

守らなければならない「公式」の計画です。このガイドでは、いやな気持ちになる内容をお子さまがオンラインで見かけたとき、どうすればよいかという「我が家の手順」のことでです。

信頼

何か、またはだれかは頼りになり、うそを言わないと固く信じられることです。

勇気を持つ

強くふるまえる気持ちを持つことです。怖いもの知らずである必要はありません。怖さや不安を感じていても、助けを求め、肯定的な行動をとるとき、人は特に勇気を持てるからです。

不正行為を報告する

このガイドでは、ソーシャルメディアのアプリやサービスで問題を報告することを指します。ソーシャルメディアのほとんどのアプリやサービスは、報告のためのツールとシステムを備えています。

ファミリー アクティビティ

1 番目： インターネットで 助けを求めるとき の我が家の手順を 決める

ご家族が揃ったところで次のシナリオを読み上げます（誰かが他にもシナリオを思いついた場合は、それも含めて構いません）。それぞれのシナリオに、3つの空欄と3つのチェックボックスがあります。オンラインで問題を報告する、家族の誰かに直接話す、またはその両方をご家族で選んでください。どうすればよいかわからない場合は、一緒に話し合います。考え方は各自で違うこともありますが、インターネット関係の問題を、ご家族でどのように取り組むのかという良い練習になります。「家族の誰かに直接話す」にチェックを入れた場合は、優先する順番に、ご家族の名前を空欄に書き込みます。例えば、親や保護者が1番目の場合は、その人の名前またはニックネームを書き込みます。その人に連絡がつかない場合に、誰に連絡するのかを2番目の空欄に書き込みます。3番目の空欄についても、同じように記入します。

これらの項目のどれについても、「正しい」回答はありません。このアクティビティの目的は、ご家族にとって適切である計画をはっきりと決め、守るようにすることです。はっきりとした行動の計画を書きだすと、たとえ正式なものでもなくとも、不確かな要素を取り除き、早めの肯定的なコミュニケーションを促す上で役立ちます。

場面 1: お子さまの学校の誰かが、お子さまの友だちの 1 人について、意地悪なコメントをいくつも投稿しています。お子さまはだれが投稿したのか見当がついていますが、確かではありません。あなたのご家族は、どのチェックボックスに印をつけ、空欄にだれの名前を書きましょうか。意見がまとまらない場合は、この問題とその対応について話し合います。

オンラインで問題を報告する _____
家族の誰かに直接話す _____
その両方 _____

場面 2: お子さま：オンラインで、不適切な写真を見つけました。あなたはどうしますか？保護者の方：お子さまにどうして欲しいですか？

オンラインで問題を報告する _____
家族の誰かに直接話す _____
その両方 _____

場面 3: いとこが、親戚の集まりで撮った全員の集合写真を投稿しました。あなたのご家族の 1 人は、そのときの写真写りがよくないので不快に思っています。あなたは助けを求めますか、問題を報告しますか？

オンラインで問題を報告する _____
家族の誰かに直接話す _____
その両方 _____

場面 4: お子さまの 1 人がアニメを見ていると、気分が悪くなるような描写が急に出てきました。子どもには明らかに相応しくない内容で、お子さまは嫌な気持ちになっています。どうするのが一番良いかを決めた後、このような気分の悪くなる「サプライズ」を今後減らし、防ぐために、何ができるかを話し合います。

オンラインで問題を報告する _____
家族の誰かに直接話す _____
その両方 _____

場面 5: あなたが友だちとオンラインゲームで遊んでいるとき、その場のプレイヤーの誰も知らない人がチャットで話しかけてきました。その人は意地悪なわけではありませんが、友だちはだれもその人を知りません。どうするかを決めてください。報告しますか？家族の誰かに話しますか？

オンラインで問題を報告する _____
 家族の誰かに直接話す _____
 その両方 _____

次のレベルに進む: ご家族のプレイヤーは、その人を無視すべきでしょうか。グループとして、どのような人なのか確かめるために、親切に話してみてください（それはなぜですか？または、なぜそうしないのでしょうか）。

場面 6: お子さまの 1 人が、あるオンラインの書き込みに気づきました。ある生徒がオンラインで、別の生徒と次の日にランチルームで喧嘩するとコメントしていました。お子さまはどうすればよいのか、家族で話し合ってください。

オンラインで問題を報告する _____
 家族の誰かに直接話す _____
 その両方 _____

2 番目： オンラインで問題を報告する

スマートフォン、タブレット、ノートパソコン、またはデスクトップパソコンのまわりにご家族で座って、全員に画面が見えるようにします。

お気に入りのソーシャルメディアアプリまたはサイトをご家族の 2 人以上のアカウントで開いて、それらのアプリで問題を報告する方法を一緒に確かめます。

場合によっては、保護者の方よりもお子さまのほうがアプリをうまく使えることもあります。実際にやって見せてもらい、ソーシャルメディアのコツをいくつか教えてもらおうと、保護者の方にも役に立ち、家族で楽しい時間を過ごせます。誰かが他にも何かのやり方を知りたいと思っている場合、使っているテクノロジーについて、一緒に学ぶ良い機会になります。

次の ステップ

さて、これから一緒に創り上げていく Internet Awesome のさまざまな事柄を説明しました。

取り上げたアイデアやアクティビティをいくつか試してみてください。さらに詳しく知りたい場合や、別の意見または考え方も聞いてみたい場合は、以下の参考情報をご覧ください。

最も大切なことは、ご家庭にとってどの方法が効果的なのかについて、楽しみながら調べていくことです。インターネット内と外で**か**しこく、**注**意深く、**安**全に、**思**いやりと、**勇**気を持ってふるまうためのスキルを伸ばしてください。

ご家族向けのその他の資料

Google ファミリー リンク

<https://families.google.com/intl/ja/familylink/>

Google Digital Wellbeing

bit.ly/googledigitalwellbeing

FOSI の Good Digital Parenting (保護者向けのネット利用ガイド)

bit.ly/gooddigitalparenting

Connect Safely

connectsafely.org

iKeepSafe

ikeepSAFE.org

National PTA の家族向け資料

bit.ly/familyresourcesPTA

「検索の心得」

(Google for Education より)

bit.ly/savvysearchingYouTube

Connected Parenting

bit.ly/ConnectedParentingArticle



ファミリーリンク 保護者向け ガイド

インターネットを使うときの基本的なルールを決めるための手引き

現代社会では、あらゆる場面でデジタルデバイスが使われていて、通知を許可している場合、いつも何かしら通知に対応することを求められます。ご家族にとっては、テクノロジーとの付き合い方をお子さまたちに教える上で、インターネットを自宅で使うときの基本的なルールを理解し決めておくことが、大切なステップになります。しかし、多くの子どもや十代の子は、親の側からの「押しつけ」で、無理に従わされていると感じることもあります。しかし、ルールを押しつける必要はありません。

普通の会話の中で話すことができれば、それらのルールが大切なものである理由をお子さまにわかってもらいやすくなります。ここからのトピックでは、ファミリーリンクを通じて利用できる機能を中心に説明しますが、テクノロジーの利用に関する説明は、どの保護者の方にも役に立つ内容となっています。ファミリーリンクとは、お子さまがAndroidデバイスを使い始めたとき、現在の状況を常に把握したい保護者の方が活用できるアプリです。保護者の方は、ファミリーリンクをAndroid*、iPhone、Chromebookデバイスで利用できます。

* お子さまのデバイスについては、バージョン 7.0 (Nougat) 以降が搭載されているAndroidデバイスに対応しています。Androidバージョン 5.0 と 6.0 (Lollipop と Marshmallow) が搭載されているデバイスでも利用できる場合があります。また、特定のChromebookデバイスにも対応しています。

詳しくは、<https://families.google.com/intl/ja/familylink/device-compatibility/> と Google のヘルプセンターをご覧ください。

お子さまによる適切なコンテンツの利用をサポート

お子さまが教育用アプリと自分でダウンロードしたアプリのどちらをどれだけ使っているのか、保護者の方が把握できたら便利ではないでしょうか。ファミリーリンクは、毎日、毎週、毎月のアプリ使用状況レポートなど、保護者の方向けのツールを備えており、お子さまがデバイスを使っている時間を十分に把握できます。

コンテンツの制限とアプリの承認

Google Play ストアにアクセスしたお子さまは、ゲーム、映画、番組、書籍などをブラウジングできます。ファミリーリンクでは、保護者の方が次の操作を行うこともできます。

- 表示されるコンテンツのタイプを評価に基づいて制限する
- 承認されない限り、コンテンツ（無料または有料）をダウンロードできないようにする
- ダウンロードを求められたときにアプリの情報を確認して、広告、アプリ内購入、確認したい権限が含まれているかを調べる

設けられているさまざまなコンテンツ評価（日本であれば、誰でも使えることを表す「+3」、12歳以上向けの「+12」など）についてお子さまに話します。それらの制限が年齢層ごとになぜ設けられているのかを説明して、どのようなコンテンツであれば適切であると考えられるのか、お子さまに理解してもらいます。

アプリ アクティビティ レポート

もし、お子さまがデバイスを何に使用したいかがわかれば、テクノロジーについて、お子さまと話しやすくなります。お子さまはチャットが好きなのでしょうか。ゲーマーでしょうか。あるいは、本を読むことが非常に好きなのでしょうか。どのアプリやゲームが一番楽しいかをお子さまに聞いて、どれが一番長く時間を使っているかをファミリーリンクのアプリ アクティビティ レポートで確かめます。このレポートには、お子さまが各アプリに使っている時間の内訳が日、週、月別に示されます。

アプリの非表示

お子さまが視聴、ゲーム、または学習する対象に応じて、保護者の方が適切な長さの利用時間を決める機能があります。特定のアプリの利用時間が長すぎることがアクティビティレポートでわかった場合は（お子さまのお気に入りの新しいゲームなど）、そのアプリを一時的にデバイスで非表示にできます。そのアプリの利用時間が適切な長さだとお子さまが感じているかどうか、お子さまと話し合ってください。また、なぜアプリを一時的に使わないようにするかという理由もお子さまに説明します。アプリの履歴（ゲームの進み具合や最高得点など）が消えてしまうことはありません。お子さまがもう一度遊んでよいと保護者の方が決めるまで、アプリが見えなくなるだけです。

アプリについてお子さまと話し合うときに、どのアプリやゲームが一番お気に入りなのかを聞いてみてください。学校、家の手伝い、外での遊びといったことと、アプリの利用時間とのバランスがとれているかどうかを確かめると同時に、お子さまが何に興味を持っているのかを知るチャンスでもあります。

利用時間の監視

お子さまがデバイスを使える時間の長さは保護者の方が決めますが、その制限を設定する際に便利な機能がファミリー リンクにあります。

利用時間の制限

ファミリー リンクでは、お子さまが1日に Android デバイスを使える時間の長さを保護者の方が設定できます。これを機に、毎日どれほどの時間であればデバイスを使っても問題がないのかをお子さまと話し合い、お互いに納得できる制限を決めてみてください。デバイスを利用できる時間は保護者の方とお子さまのどちらも確認できるので、お子さまによるデバイスの利用を保護者の方が積極的に監督できるほか、お子さま自身も自発的に管理できます。

おやすみ時間の設定

お子さまが寝る時間になったら、十分な睡眠の妨げになるものをできるだけ控えることが大切です。ファミリー リンクでは、お子さまが眠る予定の時間帯をデバイスの「おやすみ時間」に設定できます。サッカー場で最高のプレーをするために必要なエネルギーから、テストで高い点をとるために欠かせない集中力まで、心身ともに健全であるには、デバイスを使わないおやすみ時間が必要であり、そのことをお子さまにわかってもらうことが大切です。また、保護者の方も、ご自分がデバイスから離れて眠る準備をするのはなぜかをお子さまに説明する良い機会にもなります。

お子さまのデバイスのリモート操作によるロック

宿題の時間やご家族で過ごす夕食の時間になったら、お子さまのデバイスをファミリーリンク アプリを使ってロックできます。デバイスを使ってもかまわない時間や、電源をオフにしてデバイスから離れる時間をご家族で話し合っ決めてくれる良い機会です。デバイスをリモート操作によってリアルタイムでロックできるので、保護者の方がロックした理由についてお子さまに説明し、ご家族の決まりごとを改めて伝えることで、お子さまを指導するとともに、監督することが同時にできます。

現在地の確認

大きくなったお子さまや 13 歳以上のお子さまがいる場合、保護者の方は、居間でふと立ち止まって「うちの子はどこ？」と思った経験があるのではないのでしょうか。たいていは、自分の部屋で静かにしているだけ、または家の外で近所の友人といることを保護者の方が忘れていただけであることがほとんどです。それでも、お子さまがデバイスを持っていて電源がオンになっている場合、ファミリー リンクを使えば、保護者の方がお子さまの居場所がわかるという機能は便利です。

デバイスの位置情報のオン

お子さまのデバイスの位置情報を保護者の方が確認できるとなぜ役に立つのか、お子さまに説明してください。

お子さまの成長に合わせた設定調整

お子さまの成長に合わせて、アカウントとデバイスのさまざまな設定を保護者の方がファミリー リンクで変更できます。これらの変更について話し合い、アカウントとデバイスの利用をお子さま自身で将来管理できるよう備えるうえで、どのように役立つのかをお子さまに説明してください。

ご家族での取り組み

ファミリー リンクは、お子さまの行動状況を保護者の方が絶えず捉えるうえで役に立つと同時に、お子さまが賢く、自信を持ってオンラインで行動するために必要な情報をお子さまに提供する上でも活用できます。Be Internet Awesome は、安全なオンライン利用方法をお子さまに教えるためのプログラムです。Be Internet Awesome の誓いにお子さまと一緒に登録し、これらのトピックについて、お子さまと話し合うことをご検討ください。また、ウェブを利用した無料のゲームである Interland で遊ぶよう、お子さまを誘ってみてください。ゲームを通じて、安全なパスワードを作成する、オンラインで思いやりを持つ、フィッシングや詐欺に注意する、オンラインでの評判に気をつけるというトピックのスキルを身につけることができます。Interland には、ファミリー リンク アプリのメニューにある [ご家族へのアドバイス] から直接リンクできます。